



札幌文化芸術劇場
hitaru

SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER



2023.
3/11 SAT - 12 SUN

会場 クリエイティブスタジオ

特別編
(本編+特典)

オンライン
配信決定

2023.4/15土▶6/18日

※販売終了時間、視聴期間は配信
サイトにより異なります。
詳細は右記二次元コードまたは
別紙のチラシをご確認ください。



ご挨拶

本日は、ご来場誠にありがとうございます。おかげ様で、本公演チケットは、2022年12月末をもって完売することができました。当事業は、魅力ある新たなパフォーミングアーツを創造、発信し、ご来場の皆様にお楽しみいただくのはもちろん、関わるアーティストやスタッフの制作能力の向上、そして地域が活性化することを目指し、hitaruがセルフプロデュースするものです。

前身となる、Creative Opera Mixシリーズは、3年間にわたり公演を制作し、コロナ禍にも関わらず、クリエイティブスタジオでの公演は全公演が完売し、Vol.2公演では、来場者満足度100%を記録することができたほか、集大成となる3年目には2,302席を有するhitaruでの公演を成功させ、非常にご好評いただきました。

複合文化施設である札幌市民交流プラザは様々な舞台芸術が集う場であるため、本シリーズは、Creative Art Mixとして再スタートし、多様なアートを融合させ、より魅力を高めたパフォーミングアーツをクリエーションしてまいります。

本公演タイトル～RE:BORN～には、hitaru creation全体も含め、先行きの見えない現代において、次世代を見据え、新たに生まれ変わっていこうという信念的な意味合いも込められています。

第Ⅰ部では、クラシックの名曲を多様なアレンジとダンスにより誕生から生まれ変わる様を表現、第Ⅱ部では、転生したダンサーたちが、クラシックバレエの教科書とも言われる「白鳥の湖」を「Swan Lake Beyond」として新たな世界観で表現しますので、是非お楽しみいただければと思います。また、Ⅰ部とⅡ部でそれぞれ魅せる映像演出にもご注目ください。

本日を迎えることが出来ましたのも、応援して下さった皆様をはじめ、関係者の皆様のご尽力のおかげです。ここに深く謝意を表したいと思います。

hitaruのクリエーション事業では、今後も様々なことにチャレンジし、さらに進化したパフォーミングアーツを創造したいと考えておりますので、ご注目いただければ幸いです。

札幌市民交流プラザ／劇場事業課長 チーフプロデューサー 高橋 秀典

Staff

◆ 作・編曲

小野健悟、DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST

◆ 振付

郷翠、西野留以、鈴木明倫、髪立ツカサ、井川真裕美、TAKAYA、仙庭弘晶、遠藤理温、満藤弘、佐々木空翔、YUKA、AKO、Chisaki、徳光真音、水野天音

◆ 振付監修・第Ⅱ部 演出振付

宏瀬賢二

◆企画プロデュース・全体構成

高橋秀典（札幌市民交流プラザ劇場事業課長チーフプロデューサー）

◆舞台・照明・音響

札幌市民交流プラザ舞台技術課

◆舞台監督

齋藤玲（札幌市民交流プラザ舞台技術課）

高田竜弘（北海道ステージアートアライアンス）

◆ 照明

戸高健司（北海道ステージアートアライアンス）

◆ 音響

石井悠貴（北海道ステージアートアライアンス）

◆ 制作

札幌市民交流プラザ劇場事業課

◆ 宣伝美術

若林瑞沙（Studio COPAN）

◆ 宣伝写真

田邊馨（Studio COPAN）

◆ プログラム作成協力（原曲解説・監修）

千葉潤（札幌大谷大学学長・教授）

◆撮影協力

吉野志織（MARBLE ART VISION）

西崎圭佑（MARBLE ART VISION）

◆ スチール

定久圭吾（doppietta）

◆ 制作録音協力

鶴羽宏一（ヒットスタジオ）

第I部

第I部は、変わらぬ輝きを放つクラシックの珠玉の名曲の数々をテーマにした新感覚音楽と、様々なダンスが目くるめくコラボを繰り広げるオムニバス。ジャズ・電子音楽・ロック・ヒップホップ等がクロスオーバーした音楽と、バレエ・ストリートダンス・コンテンポラリーダンス・舞踏が交わり展開していくアートのコラボレーションをお楽しみください。

グノー「アヴェ・マリア」(1859)

フランスの作曲家シャルル・グノーが、バッハの平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番の前奏曲を伴奏に取り入れた歌曲。「グノーのアヴェ・マリア」として広く親しまれている本楽曲を、旋律の美しさを際立たせるアレンジによりお届けします。さらには舞踏とのコラボレーションにより「誕生」を表現します。

◆ R&B/SOUL × 舞踏



19世紀フランスのグノーがバロック時代のバッハ「前奏曲」を伴奏に用い、美しい歌曲を創作。題名はカトリックの典礼に因んだ聖句で“めでたし、聖マリアよ”の意味。

ホルスト組曲「惑星」より「木星」(1914)

組曲「惑星」は7つの惑星の名前が付けられた楽章から構成されています。その中でも、日本の有名ポップス歌手による歌唱で多くの人に知られた「木星」を徐々に勢いを増していく音楽のイメージから、ラテンアレンジとロックアレンジ。バレエとコンテンポラリーダンスによるダンスパートも加わる壮大な作品です。

◆ LATIN × コンテンポラリーダンス・バレエ



7つの惑星に因んだ管弦楽組曲で、各曲は占星術とローマ神話に因んだ副題をもつ。「木星」は“快楽をもたらすもの”で、中間部は平原綾香のデビュー曲でも有名。

ラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」(1899)

フランスの作曲家モーリス・ラヴェルがピアノ曲として作曲し、その後管弦楽曲として自身で編曲も行った楽曲。印象派音楽かつ理知的で明快さを持つといわれるラヴェルの旋律をジャズアレンジでお届けします。ジャズのサウンドとストリートダンスとの魅力的なコラボレーションをお届けします。

◆ R&B/JAZZ × ストリートダンス



「ボレロ」で有名なラヴェルによるピアノ曲(のちに管弦楽編曲)。特定の人物に捧げられたものではなく、スペイン宮廷の風習や情緒へのノスタルジアを表現したものとされる。

ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」(1808)

誰もが聞いたことのある冒頭のモチーフを持つ交響曲第5番「運命」。ベートーヴェンが難聴と闘いながら作曲したこの有名曲に、スピード感のある電子音楽系のアレンジを施し、舞踏とコラボレーションをします。電子音楽×舞踏、どこでも見たことのないコラボレーションをお楽しみください。

◆ ELECTRONIC × 舞踏



ベートーヴェンの創作を代表する交響曲。冒頭の特徴あるリズムから「運命」と呼ばれるが、これは通称でベートーヴェン自身による正式な命名ではない。

ショパン「革命のエチュード」(1831)

「革命のエチュード」や「革命」と呼ばれて広く知られている、ポーランドの作曲家ショパンの「練習曲 作品10-12 ハ短調」。ドラマチックな原曲に現代的な電子音楽アレンジを行い、クラシックバレエを組み合わせます。疾走感のある旋律やアレンジの激しさと、バレエの美しさという二面性をお楽しみください。

◆ ELECTRONIC × バレエ



祖国ポーランドの民衆が帝政ロシアに対して武装蜂起した際、国外で参加できなかったショパンが怒りの感情をぶつけたといわれるピアノ曲。

ハチャトゥリアン「剣の舞」(1942)

バレエ作品『ガイース』のために作曲された「剣の舞」は、ハチャトゥリアンがたった一日で作曲したといわれています。野性的で生命力あふれるリズムを持つ楽曲を、激しいロックアレンジでお届け。しなやかさと激しさを兼ね備えるコンテンポラリーダンスのコラボレーションでお贈ります。

ハチャトゥリアンの著作物に係る本公演での上演使用は、全音楽譜出版社により許諾されています。

◆ ROCK × コンテンポラリーダンス



旧ソ連アルメニアの作曲家ハチャトゥリアンによるバレエ『ガイース』の最終幕で用いられるナンバー。クルド人がサーべルを持って舞う、戦いの踊りを表している。

ヴェルディ「レクイエム」(1874)

ドラマチックで壮大なヴェルディの「レクイエム」は、モーツアルト、フォーレ作曲のレクイエムと並び「三大レクイエム」として広く知られています。苦悩と怒りを表現するヒップホップアレンジに、ストリートダンスがコラボレーションし、迫力のある作品を創り上げます。

◆ HIPHOP × ストリートダンス



オペラ作曲家として著名なヴェルディが、尊敬した同郷の文豪マンゾーニの死を悼んで作曲。モーツアルト、フォーレの作品とともに「三大レクイエム」のひとつに数えられる。

Program

第II部

スワン レイク ビヨンド 「SWAN LAKE BEYOND」

第II部は、北海道の最前線を走る才能が集結し、誰もが知るバレエの名作「白鳥の湖」を新たな視点で再構築していく意欲作「SWAN LAKE BEYOND(スワン・レイク・ビヨンド)」。

静と動、再生と創造、純白の優雅か、漆黒の強さか…?!
刺激的/予測不能な唯一無二のライヴをぜひご堪能ください!

企画構想:高橋秀典／演出振付:宏瀬賢二

◆ STORY ◆ (オリジナル)

ロットバトルには双子の娘がいた。

ロットバトルの双子の娘、オデットとオディール。

心優しく、善き心を持つ白鳥オデットとは裏腹に、黒鳥オディールは、いつの日か怒りと嫉妬に支配されていく。

邪悪なるロットバトルは、己が欲望のために、オディールの孤独な魂を利用する。

王子は、実の母である女王からの寵愛を受け、密かな憧れを抱いている。

遊び人たちが集う夜の世界へ女王に連れて行かれるが、多くの女性から誘いを受けても、その心は惹かれなかった。

しかし、王子はオデットとの運命の出会いにより、初めて本当の恋を知る。

オデットと互いに思いを寄せる王子であったが、オディールの妖しい力に魅せられて誘惑されてしまう。
これには女王のたくらみが働いているのだが…。

それぞれの狂気・嫉妬・愛憎から救うのは愛。
そして、どう再生されるのか…。

原作:ピョートル・チャイコフスキ

「白鳥の湖」(1877)



モスクワ・ボリショイ劇場からの依頼により作曲。

初演後、一時忘却されたが、作曲家の死後に蘇演され、今日では古典バレエの名作として知られる。

作曲・編曲/サックス・ウインドシンセ 小野 健悟



大学生時代に北大ジャズ研究会に所属、ジャズを中心活動の幅を広げる。自己のバンドでの全国ツアーや、その他数々の大きなイベント、ステージ参加、多くの著名アーティストと共に演及ライブサポートを務める。2015年、伊藤広規with SPYCEにてライジングサンロックフェスティバルに出演。国内最大級のジャズフェスティバル、サッポロ・シティ・ジャズにおいてシングル楽曲制作、ディレクター業、演奏活動、アレンジなど音楽制作活動、ワークショップ講師等を務め、育成活動にも力を入れている。

編曲/DJ DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST



“DJ”という職業、業(ごう)を通して、札幌を起点にあらゆる人種や音楽ファンをコネクトする「プロ中のプロ」。2009年より海外ツアーや毎年行いこれまでに、タイ、アメリカ合衆国、韓国、ベトナム、ミャンマー、台湾、香港、中国とアジア圏を中心にDJツアーや成功させ、日本国内のみならずワールドワイドに活躍している。また、オーディオ機器販売店NISEKOで毎週開催される彼のパーティーでは、世界中から来たお客様を熱狂させ続けている。テーマパーク型ダンスクラブ KING XMHUのResident DJとしても活躍している。

札幌舞踊会 郷 翠



オデット

Ballet バレエ

1999年、札幌舞踊会へ入会。千田雅子振付による「カルミナ・ブランナ(札幌文化芸術劇場 hitaru オープニングシリーズ公募企画事業)」ほか、「くるみ割り人形」「コッペリア」「KARMA」や、坂本登喜彦振付の作品など、札幌舞踊会の公演で主要な役を務める。また、北海道二期会、札幌芸術・文化フォーラム、札幌ジャズアンビシャスの舞台や、多くの映像作品にも積極的に参加し、その圧倒的存在感で好評を博す。フランスのカンヌロゼラ・ハイタワーや、ニューヨークへの短期留学、2012年、ザ・バレエコン札幌第1位2022年、日本バレエ協会北海道支部第40回記念公演全道バレエフェスティバル・イン・サッポロでは、「白鳥の湖」全幕にてパード・トロワを踊り好評を得る。

DANCE STUDIO LoRe 鈴木明倫



王子

Contemporary コンテンポラリーダンス

DANCE STUDIO LoRe主宰。北海道教育大学岩見沢校芸術課程卒業。近年では東宝ミュージカル「エリザベート」全国ツアーにてトートダンサーとして225回の公演に出演。また、韓国や香港のフェスティバルに招待され作品の発表やWSを行う。現在はスタジオ経営の他、龍谷学園高校でのダンス授業指導、アクターズスクール特別講師、福祉施設でのレッスンなど指導者としても幅広く活動中。北海道ダンスプロジェクト(HDP)正会員。

Dance Studio mind (舞人) 井川真裕美



女王

西野留以

Fe. dance studio



Street dance ストリートダンス

Fe. dance studio 所属。4歳より札幌舞踊会にてクラシックバレエを始める。並行して自身のスタジオにてHIPHOP・JAZZ等のオールジャンルを学び、幼少より数々の舞台を踏み、ダンスコンテスト等でも全国優勝を果たす。2018年北海道未来チャレンジ基金・文化芸術第1期生として選出され海外留学。帰国後は道立三岸好太郎美術館にてダンス公演を行う。現在も文化芸術北海道アンバサダーとして札幌文化団体協議会、北海道ダンスプロジェクト公演等のダンス文化・芸術の振興・向上に向けて活動。様々なダンスシーンにて活動中。

髪立ツカサ



ロットバルト

Butch 舞踏

2014年、舞踏家田仲ハルに師事。2016年、初ソロ公演「み間違い」、翌年2017年には欧洲4ヵ国ツアードイツ、イギリス、ポーランド、オーストリア)を果たす。2018年、北海道舞踏フェスティバル招致ソロ公演「馬頭卿」出演。2019年、Taiwan International Darkness Dance Festival(台湾)～継承と革新～舞踏新時代(京都)等に参加。2014年以降、田仲ハル率いる舞踏集団「極北会」主要メンバーとして、多数の舞踏公演に参加。

Dance Studio mind (舞人) TAKAYA



ロットバルト (大黒鳥)

2011年、史上最強の移動遊園地 DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2011 北海道公演に出演。同年、北海道中国黒龍江省友好親善交流会事業の為、訪中。2012年、ダンススタジオマインド講師として活動する。2013年よりダンススタジオマインド所属の男性4名による香男ル(かおる)を結成。2014年、北海道文化財団記念事業として北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)にて公演。2015年、韓国で開催されたSCF(ソウル国際振付フェスティバル)に出演する。「Creative Opera Mix」では、Vol.1・Vol.2・Vol.3全てに出演、振付も行う。

松竹歌劇団(SKD)出身。1991年よりダンススタジオマインド講師として活動。2008年より2022年まで毎年、子供のための舞台芸術ワークショップ事業「子供のためのオペレッタワークショップ」発表公演にてダンス指導・振付を行う。2013年、札幌文化芸術団体協議会「芸術選賞」を受賞。2014年、自身の作品にて第25回国民文化祭・あきた2014「ダンスフェスティバルin横手」に参加する。2022年、劇団千年王國ロックミュージカル「ロミオとジュリエット」にて振付を行った。

映像



クスミエリカ

自身で撮影した写真のみを素材とし、デジタル処理を施した「デジタルカラージュ」作品を制作。



Wajima

デザイナーなどを活動。インラクティブな映像を用いたVJを行う。



モンマユウスケ

札幌市出身。グラフィックデザイナーとしての活動を中心に、現在は映像撮影・監督、ブランディングやアートディレクションなども行っている。



この工作所

木や紙などを材料に色々なものを工夫して作る。顔出し看板やイベント、ウェディング、舞台、CM美術のほか店舗什器、雑貨製作もする。



バンド



ピアノ・キーボード
林 佳一郎



ピアノ・キーボード
吉澤早紀



ギター
町田拓哉



ヴァイオリン
長谷川加奈



ベース
青木 務



ドラム
酒井颯太



ダンサー



仙庭弘晶



遠藤理温



満藤 弘



佐々木空翔



YUKA



AKO



Chisaki



徳光真音



水野天音

Dance Studio mind (舞人)
Fe. dance studio

hitaru creation

本公演は、札幌文化芸術劇場 hitaruが札幌で活動する芸術家と連携し、セルフプロデュースする新規創造事業です。

hitaru オフィシャルスポンサー

ニトリ、アイングループ、イオン北海道、札幌田中病院、TAIYO GROUP、富士メガネ、CO・OP共済、札幌丸井三越、北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

あいプラン、MORIHICO.、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、札幌マタニティ・ウインズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、藤女子大学、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、北海道ガス、會澤高庄コンクリート、旭イノベックス、SOC、遠藤興産、KUMON、三精テクロロジーズ、トーホーエンジニアリング、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、さっぽろ内科、リウマチ膠原病クリニック、サッポロホールディングス、ホクリヨウ、朝日新聞社、アップル札幌手稻店、アムテック、アルシス、アルスマエヤ、アルファ技術、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、H.N・メティック、エイト設計、エメラルド整形外科疼痛クリニック、片桐企業グループ、河合塾、TAT札幌、弁護士法人北空、KDDIエボルバ、五島冷熱、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スパインクリニック、札幌デンタルケア、ジャパンテクニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、新札幌駅前内科循環器、蘇春堂形成外科、大成建設、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、ノース技販、博愛会、ひびき、福住泌尿器科クリニック、北海道銀行、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントライブ、みたに胃腸内科、南一条脳内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道